

### 3-7 授業情報技術講習会

本講習会は、教員の授業運営能力の向上を図るため、教材の作成・掲示、ネットワークを利用した授業実現などに必要な情報技術について、実習形式で技術指導を行うものである。なお、講習会の企画・実施・運営は、授業情報技術講習会運営委員会（委員長：山本喜一、慶應義塾大学）にて対応した。

#### (1) 開催要項の決定

14年度と同様、プレゼンテーションツールの基本操作を習得する基礎コースと、動画の加工・編集、アニメーションの作成方法等を習得する応用コースを設定し、参加者の技術能力と興味対象により選択することとした。

本年度は、教員に授業改善のためのイメージを持って取り組めるよう、基礎・応用コースとも技術講習に入る前に、ITを活用した授業運営の事例紹介を行い、IT活用の意義・効果について理解が深まるようプログラムを改めた。

運営は、基礎コースが関東・関西・九州の3会場に分散し、インターネットを利用してのTV会議方式で実施した。応用コースは、関東1会場の開催とした。以下に開催要項を掲載する。

#### 平成15年度授業情報技術講習会開催要項

日時：【基礎コース】平成15年8月4日(月)～6日(水)  
【応用コース】平成15年8月7日(木)～9日(土)  
会場：【基礎コース】[関東会場]：千葉工業大学芝園キャンパス  
[関西会場]：甲南大学  
[九州会場]：九州産業大学  
【応用コース】[会場]：千葉工業大学

##### 1. 目的

この講習会は、受講目的、経験に応じてテーマを設定し、ITを活用した授業方法の紹介を行うとともに、教材の作成とWebサイトへの掲示、ネットワークを利用した遠隔授業の運営などに求められる情報技術の講習を実習により修得し、教員の方々に情報技術の理解をいただくことを目的とします。基礎コースは同一プログラムにより、関東、関西、九州地区にて同時開催いたします。

##### 2. 受講対象者

当協会加盟大学・短期大学の専任教員ならびに情報技術を使用して教育支援を行う専任職員の方

#### <基礎コース>

「ITを活用するプレゼンテーションを行うための基礎知識・基本操作」  
授業にコンピュータ等の活用を考えている教員で、ワープロなどの操作技術をあらかじめ修得している方を対象とします。

※ コンピュータに関する基本用語の理解、キーボード・マウスなどの基本的な操作技術があることを前提に講習します。

#### <応用コース>

「よりダイナミックな授業を実践するためのIT活用技術」  
既にコンピュータを用いた教材作成を実践している教員で、プレゼンテーションソフトなどの操作方法を理解している方を対象とします。

※ コンピュータ、MS-Windows、MS-Office 等について基本的な理解があり、一通りの操作技術があることを前提に講習します

### 3. 講習内容

各コースとも、授業における情報技術の活用について、概念理解から教材作成、提示・プレゼンテーションの方法まで一貫して講習します。

#### 【基礎コース】

授業でのIT活用事例の紹介と実現のための環境・技術の解説を通じて、教員の目的に即した技術活用が可能となるよう、目標設定と実現のためのプロセスを理解するとともに、基礎的な知識・技術を実習により修得します。

#### 1. 授業でのIT活用事例の紹介

大学で実践されているマルチメディアを活用する授業を担当教員から紹介し、教員に必要な技術、大学に必要な環境と支援体制、課題と解決のための取り組み、将来構想などを解説します。

- (1) 学系別のIT活用事例の紹介
- (2) 実現のための技術と環境について
- (3) ファーストステップに向けてのアドバイス

#### 2. スライドやWebページによる教材作成の実践

プレゼンテーションスライドやWebページによる教材作成の基本的な知識と技術を実習により修得します。

- (1) スライド教材作成実習  
(レイアウト、画像等の取り込み、効果を高める工夫)
- (2) Web教材作成実習

(デザイン、スライド・画像等の取り込み、効果を高める工夫)

☆ 衛星回線等により各会場に講義を配信します。各会場には、実習指導のための講師・アシスタントを配置します。なお、講習プログラムは都合により変更することがあります。

#### 【応用コース】

授業をよりダイナミックにするための比較的高度なIT技術の修得を目指し、授業現場での活用事例の紹介と必要な技術・環境を解説するとともに、

目的に応じた動画像の加工・編集とWebページへの掲載手順などを実習により修得します。

#### 1. 授業でのIT活用事例の紹介

大学で実践されているマルチメディアを活用する授業を担当教員から紹介し、教員に必要な技術、大学に必要な環境と支援体制、課題と解決のための取り組み、将来構想などを解説します。

##### (1) 学系別のIT活用事例の紹介

##### (2) 実現のための技術と環境について

##### (3) 最新技術動向の紹介と今後の動向について

#### 2. 動画像・音声を取り込んだ教材作成とWebページへの展開

動画像編集ツール、アニメーション作成ツールなどを用いた教材作成の基礎知識と目的別のマルチメディア教材作成のための基本操作、自学自習も視野に入れたWeb教材の作成技術を実習を中心に修得します。

##### (1) 動画像加工・編集実習

(素材データの加工・編集、アニメーションの作成等)

##### (2) Web教材作成実習

(デザイン、動画像等の取り込み、効果を高める工夫)

#### (2) 開催結果と次年度への準備

参加者数は、基礎コース76名(関東:40名、関西:22名、九州:14名)、応用コース62名の総勢138名であった。

基礎コースは、テレビ会議システムで千葉工業大学をキー会場として、甲南大学、九州産業大学に同時配信した。ネットワークは、Bフック回線を用いた。応用コースは、Premiereによる動画像の編集に加え、Flashによるアニメーションの作成・編集も取り扱ったが、多機能なアプリケーションであるためテーマによっては時間内に全ての内容を消化できない箇所もあった。

次年度の計画は、応用コースは参加者も多くなってきていることから、1会場で対面形式で行う予定であるが、基礎コースについては、より多くの教員が学習できるようにするため、これまでの対面形式による講習からeラーニング講習に変更することにした。これにより教員が時間と場所に制約されることなく講習が受けられるようになることから、希望する教員に講習の機会を提供し、教育改善の普及に寄与できるとしている。なお、e-講習は、講習を受ける教員側の情報環境が異なることにより、講習内容が初歩的なスライドの作成に限定されていることから、音声・動画を組み入れた教材などについては、スクーリング講習を別途設けることとしている。さらに、e-講習の日常的な相談・助言が得られるよう、大学等の支援が得られることを前提に企画している。

現在、16年度に向けてe-講習の教材開発について検討を進めており、授業のイメージを見てそれを実現するための情報技術の講習を受ける方法と、部分的な技術を選択して講習が受けられるよう、ポータルサイトを工夫することとしている。